



おくび

2014

12

NO. 722





～ 声をそろえて「ヤッホ！」～

健康ウォーキングルート「樽口峠ブナの森」の完成披露を兼ねたモニターツアーが11月1日、小玉川地区で開催されました。参加した地元住民や町内外の招待客、新潟大学と東北芸術工科大学の学生など約70人は、やまびこがかえってきやすいといわれる語尾を伸ばさない「ヤッホ！」に挑戦しながら、白い森散策を楽しみました。

特集 地域とともに育む町の宝

～子どもたちの学習支援強化へ向けた取り組み～



8月に開催された「Make 道場 in おぐに」

地域と関わる教育の推進

町では、子どもたちの健やかな成長にとって、家庭や学校に加えて地域の力が不可欠であるとともに、住民の力がたにご協力をいただきながら地域全体で子どもたちを育む環境づくりを進めてきました。しかし、生活の変化や少子化の進行等に伴う影響により、地域とのつながりが減りつつあります。

11月14日に、小国小学校の新校舎開校と小中高一貫教育のさらなる推進を図るため、小国小学校で開催した「小国町小中高一貫教育推進シンポ

私たちを取り巻く社会環境は、急速な人口減少、少子高齢化の進行等により大きく変化しています。次代を担う子どもたちが、そうした社会の中で生き抜く力を身につけるためには、学校教育だけでなくさまざまな体験を通して学ぶ機会をつくることが大切です。本町においても、小中高一貫教育の推進に加え、地域をはじめ町全体で子どもたちを育てていくことが必要であり、そのために地域の教育力を高めることが重要です。今月は、本町で展開されている地域の力を活用した取り組みを紹介し、地域で支える教育の重要性について考えます。

ジウム」のパネルディスカッションでは、「小中高一貫教育への期待」（概要をP4、P5に掲載）と題し、これまでの本町の小中高一貫教育における成果や課題について意見が出されたほか、今後も小中高一貫教育を進めていくうえで、地域との関わりについても議論が交わされ、あらためてその重要性が認識されました。

本町のこれまでの取り組み

地域との関わりを通じた体験型学習として、平成19年度から、小国小学校を活動拠点に、地域住民のボランティアスタッフとともにさまざまな

特集 地域とともに育む町の宝



学習と交流の場となっている「まご楽校」

体験をする「おぐに放課後子ども教室めっちゃ」を開催し、子どもたちが安心して楽しく学んで過ごせる場を提供しています。また、北部地区では、平成21年度から学校が休みの日を活用し、地域のおじいちゃんやおばあちゃんが「まご支援隊」として、子どもたちとともにむかし遊びや調理体験、軽スポーツなどを行う「まご楽校」を開催しています。

「まご支援隊」として活動する安部澄子さん（小股）は、「子どもたちは、毎回楽しみながら参加してくれているようですし、地域と子どもたちとの貴重な交流の場となっています。最近では、北部地区外の子どもたちも多く参加してくれるようになりました。」

今後、世代や地域を超えて一緒に楽しく学びながら活動が続いていきたいです」と話してくれました。

白い森学習支援センターを設置

町では、これまで展開してきた体験を通じた学びと交流の機会の提供に加え、児童生徒のさらなる学力向上を目指し、今年の7月に「白い森学習支援センター」を設置しました。これは、学校の長期休業期間や土・日曜日等を利用し、希望する児童生徒に学習機会を提供するものです。

同支援センターの第1弾の活動として、今年の8月に開催された「Make（メイク）道場 in おぐに」では、段ボールなどでアート作品を手掛ける田中さとしさん（千葉県）が講師を務め、小学生が段ボールや牛乳パックなどを使って昆虫や家など、自由な発想で工作をしました。また、不要なA4用紙を折ったり重ねたりして、いかに高くタワーを作れるかを競うという

たゲームに挑戦し、遊びながら思考力を鍛える講座が行われました。

今後は、学校の春休み期間等を利用し、地域住民が「地域学習サポーター」として講師を務め、小学5年生と中学2年生を対象とした科目別の学習指導を行うほか、全児童生徒を対象にALT（外国語指導助手）による英会話講座などを定期的に開講していくこととしています。

地元の民間企業との連携

地域住民による学習指導に加えて、町内企業と連携した学習支援への取り組みが進められています。11月には、町とコバレントマテリアル㈱（小国事業所、日本重化学工業㈱小国事業所による「子どもたちの健全育成の推進に関するパートナーシップ協定」が締結されました。

これは、地元企業にご協力をいただきながら、企業の技術を活かした教育の実践を通じて人材の育成を図るもので

す。町が教育面で企業と提携するのは初の試みとなります。両事業所の従業員のかたに講師を務めていただき、白

白い森学習支援センターの講座開講予定

内 容	対 象	指導者	開催時期	備 考
学習指導	小学5年生 中学2年生	地 域 学 習 サポーター	春休み期間	国語、算数、数学をコース別に設定
自習室の開放			1月～3月の土曜日	
英会話講座	全児童生徒	ALT	12/13、1/10、1/24、 2/7、2/21、3/7	小学校低学年コース、高学年コース、中学生コースを設定
サイエンス講座		コバレント マテリアル㈱ 日本重化学工業㈱	調整中	小学校低学年コース、高学年コース、中学生コースを設定

地域の実情に合わせた取り組みを

山形県教育庁
義務教育課
課長補佐

大池 清人 氏



小中高一貫教育を継続してきた中で、取り組みに系統的なカリキュラムがしっかり根づき、絶えず見直しがなされていることから、継続に攻めの姿勢が感じられます。また、国際教育に力を入れてきたことで、英語の学力の伸びは県内でも自負しています。これは、小・中・高というつながりがあることによる成果のひとつだと思います。今後は、地域の実情をとらえ、それに合わせた取り組みを確実に進めることが大切です。

町の将来を担う人材育成へ

小国小学校
校長

長沼 誠 氏



本町では、町の将来を担う人づくりに力を入れており、その中核が国際教育、情報教育、白い森学習などの地域学習です。これらを通じた交流活動を推進してきたことで、小中高12年間の縦のつながりが強くなっていると感じます。小国小学校と小国中学校が渡り廊下で連結されたことで、さまざまな可能性が広がったと感じます。国際感覚を身につけ、ふるさとを愛する子どもたちを地域にご協力いただきながら育ていかなければならないと思います。

小国町小中高一貫教育 推進シンポジウム パネルディスカッション 「小中高一貫教育への期待」

い森学習支援センターにおいて全児童生徒を対象としたサイエンス講座を開講し、主に科学実験やものづくりの現場見学などを通じて、学習意欲の向上へとつなげていくこととしています。

地域との連携強化へ 向けた仕組みづくり

これまで本町では、少子化の進行等に伴い、町内小中学校の統合を段階的に進めてきました。一方で、これまで学校が地域で果たしてきた機能の補完や広域化した学区（地域）との連携・協力体制をいかに維持、さらには強化していくかが新たな課題として浮かび上がっています。

こうしたことから町では、文部科学省からの指定を受け、今年の10月に、「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」を導入しました。これは、小国小学校、小国中学校それぞれに保護者や地域住民を委員とした学校運営協議会を設置し、学校の教育課



日本重化学工業(株)
小国事業所
羽田 俊明 所長

地域に少しでも貢献したいという思いで、この取り組みに賛同させていただきました。楽しみながら参加してもらえるよう、磁石や電池、モーターなど馴染みのあるものを使った講座を準備しています。

子どもたちにとって、さまざまなことに好奇心を持つきっかけのひとつとなってもらえればうれしいです。

講座では、私たちが扱っている原材料や装置を活用して、実験を交えながら物質の仕組みや変化が実感できる内容を考えています。実験からいろいろな考えかたを身につけることで、学校での学習への意欲向上にもつながるのではと期待しています。

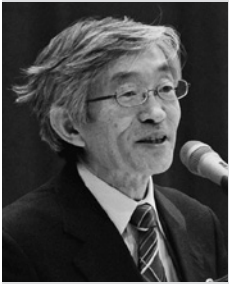
この取り組みを通じて、ものづくりの分野に少しでも興味を持ってもらいたいです。



コバレントマテリアル(株)
小国事業所
伊東 宏 所長

特集 地域とともに育む町の宝

授業面での連携促進へ



青森中央学院
大学教授

高橋 興 氏

校舎が一体型となったことで、取り組みの幅や可能性が広がったと思います。小中高一貫教育を進めていくうえでは、目指す目標とどういった教育課程を設定するかが大切ですし、子どもたちを地域とともにどう育てていくかということも考える必要があります。小国町の今後の小中高一貫教育のさらなる発展のため、これまでの校外でのさまざまな活動に加え、授業面でも学校間でさらなる連携を図れる仕組みづくりを進めていく必要があります。

地域の学校離れを防ぐことが大切



県立小国高校
前PTA会長

高橋 義彦 氏

ここ数年で統合した旧学校区では、地域が学校を支えてきたという意識が強かったと思います。こうしたことから、今後は統合に伴う学校離れが懸念され、今後の小中高一貫教育を進めていくうえでの課題となるのではないのでしょうか。また、学力をつけていくことに加え、社会人として通用できる人間形成を見出していくことも大切です。今後は、家庭教育や幼児教育とのさらなる連携を図るなど、より良い小中高一貫教育を進めていきたいです。

環境を活かした教育振興へ



茨城県守谷市
教育委員会
指導室長

石井 良秋 氏

小国町では、学校と家庭、地域、行政が一体となって特色ある教育を推進され、国際、情報、地域学習などの明確なねらいを、先生がたが共通認識を持たれて実践されていると感じました。また、管轄の異なる県立の小国高校が一貫教育に深く関わられている点が素晴らしいと思います。小学校、中学校、高校が隣接する環境を活かした教育を展開するとともに、地域とのつながりを通じて郷土を愛する子どもたちを育てていただきたいと思います。



小国小学校
PTA会長
貝沼 繁夫 氏

こういった子どもたちへのさまざまな学習環境や学習支援体制の整備の推進について、小国小学校PTAの貝沼繁夫

保護者も積極的な協力を

りを推進していきます。

程や小中高一貫教育の推進策等について意見交換するなど、町中心部はもとより旧学校区の住民の学校に対する要請を迅速かつ的確に学校運営に反映していくものです。全国では、1919校（平成26年4月1日現在）が「コミュニティ・スクール」の指定を受けており、地域との連携促進や地域教育力の強化はもとより、児童生徒の学力向上にも効果があるという調査結果が出ています。地域住民が学校運営に積極的に参画することで、学校と地域住民が協働で地域とともにある学校づくりを推進していきます。

町全体で子どもたちを育む

会長は、「学校外で地域のかたがたと交流を深めながら学習できる環境は、大変ありがたいと感じています。こうした取り組みは、学力向上に加え、子どもたちが将来も小国町で暮らしたいという思いを抱くことにつながるのではないのでしょうか。私たち保護者も家庭での教育に加え、学校や地域、行政などとこれまで以上に強い連携体制を築いていきたいと思っています」と話してくれました。

さまざまな環境変化が進む中、子どもたちが伸び伸びと、そしていきいきと学び、成長できる環境を整えていくためには、本町の教育の柱である小中高一貫教育の推進を図るとともに、住民をはじめとする地域全体の協力が不可欠です。町では、将来の郷土を支える有為な人材育成を目指して、子どもたちを育む環境づくりと学習支援体制の一層の充実化を進めていきます。

平成26年度

文化の日・新町60周年記念表彰式

平成26年度文化の日・新町60周年記念表彰式を11月3日、松風館で開催しました。式典では、まちづくりに功績のあった26人、11団体を表彰しました。表彰内容と受賞者は次のとおりです。

功績章表彰

小野 精一氏（新股）

昭和36年に小国町に奉職後、平成12年1月からは助役として、同年8月から3期12年の永きにわたり小国町長として町政発展に寄与されました。



文化の日表彰

■功労表彰

伊藤 良一氏（小玉川）

平成10年から15年の永きにわたり、自然公園指導員として環境保全に取り組み、平成11年からは鳥獣保護員として野生鳥獣の適正管理に努められ、豊富な経験をもって本町の自然環境の保全保護に尽力されました。

渡部 仁氏（伊佐領）

平成5年から9年の永きにわたり、特別養護老人ホームさいわい荘の施設長として施設の増床など福祉サービスの向上に努められ、平成15年から6年間は小国福祉会理事長として高い見識をもって本町の福祉向上に尽力されました。

■感謝状

岡崎 昌之氏（東京都）

永年にわたり本町のまちづくりを指導助言され、多様な媒体を通して本町の活性化情報を発信されるとともに、小国町振興審議会委員として卓越した見識をもって本町の地域づくりの推進に貢献されました。

東関 大五郎氏（東京都）

平成21年より大相撲東関部屋小国合宿を主宰し、福祉施設の訪問や町内各種イベントへの参加を通し多くの町民との交流を図り、本町の地域活動に大きな元気と活力を与えられました。

平野 歩夢氏（新潟県）

幼少の頃より本町の横根ス



キー場をホームゲレンデに研さんを積まれるとともに、ロシア連邦ソチで開催された第22回オリンピック冬季競技大会において、日本の冬季五輪史上最年少となる銀メダリストに輝かれ、本町に元気と勇気を与えられました。

小国理容組合

30年の永きにわたり、特別養護老人ホームさいわい荘ならびに介護老人保健施設温身の郷において出張理容サービスを実施され、入所者の潤いある生活づくりに努め、本町の高齢者福祉の向上に貢献されました。

■永年勤続表彰

議会議員（15年以上）

安部 春美氏（小股）

高野 健人氏（北）

農業委員（15年以上）

渡部 隆吉氏（叶水）

駐在員（10年以上）

遠藤 昭氏（白子沢）

文化財調査委員（15年以上）

益田 敏夫氏（岩井沢）

農業振興組合長（10年以上）

遠藤 和彦氏（大宮）

舟山 武久氏（玉川中里）

法政大学現代福祉学部・大学院人間社会研究科教授

岡崎昌之氏が講演



式典終了後、感謝状を贈呈した法政大学の岡崎昌之教授から新町60周年記念講演をしていただきました。「まちづくりを担う人財と新しい地域創生」と題した講演で、「人口が少ない市町村でも独自の取り組みを展開し地域活性化に結びつけているところが全国各地にある。外部人財による視点を取り入れて地域を相対化して見るのが大切で、地域と外部をつなぐ人財を育てることが重要」と話されました。

新町60周年記念表彰

■功労表彰

村上 武氏（栄町）

今 富子氏（小国小坂町）

高橋 健二氏（栄町）

安部 靖夫氏（あけぼの）

渡邊 正義氏（樽口）

佐野 信次氏（種沢）

町岩地区流雪溝組合連合会

特定非営利活動法人

ここ掘れ和ん話ん探検隊

小国短歌会

たにし会

■感謝状

山下 英俊氏

（山形大学医学部長）

欠畑 誠治氏

（山形大学医学部教授）

宮崎 秀夫氏

（新潟大学大学院医歯学総合研究科教授）

総合研究科教授）

渋間 久氏

（公立置賜総合病院院長）

山本 東次郎氏（東京都）

福田 直樹氏（東京都）

齊藤 正一氏（朝日町）

ぶなの会

山遊亭金太郎後援会

東関部屋小国後援会

茶道宗偏流梅津社中

江戸千家山形不白会小国教室

裏千家いちよう会

ふるさととは遠きにありて

盛田 信明



～町長室便り～
雨ニモマケズ②

昨年に引き続き、「小国郷人会ふるさとツアー」を10月24日、25日の1泊2日で実施いたしました。

本町で生まれ育ち、ふるさとを離れて幾星霜、異郷の地で自らの道を歩まれた郷人会有志の皆様をお招きし、錦織なす紅葉など、昔変わらぬ美しい山河と懐かしい味、さらには新しい小国小学校など、まちづくりの最先端をご覧いただきました。

懇親会では、当時のお話しやふるさとに対する熱い思いを伺うことができました。

また、10月18日には、根津・千駄木下町まつり（東京都）の物産市に参加しました。ここは、神幸親方の現在のお住まいの地域で、親方のご配慮により最前列に「白い森の国おぐに」のブースを設けさせていただきました。

当日は、本町出身で、現在は東京都内に生活の本拠を置かれたなどにもお手伝いをいただき、本町のピールをする

ことができました。近在や外国人など大勢のかたがたでにぎわい、お立ち寄りいただいたかたからはお礼のメールをいただきました。感激とともに、こうした取り組みに対する確実な手応えも感じました。

神幸親方をはじめ、本町出身の皆様には、それぞれの地域にしっかりと根を張り、小国人としての誇りを持ち、「ふるさとおぐに」の発展のためにご尽力いただいておりますことに、心から御礼を申し上げます。

◀ふるさとツアーで本町を訪れた皆さん



▶神幸親方をはじめ物産市でお手伝いをいただいた皆さん



小国町小中高一貫教育推進シンポジウム全体講演 荻原次晴氏「次に晴ればそれでいい」



長野オリンピックのノルディック複合日本代表で、現在はスポーツキャスターをつとめる荻原次晴さんが、11月14日に開催された小国町小中高一貫教育推進シンポジウムで講演を行いました。荻原さんは、双子の兄でオリンピック金メダリストの健司さんとよく間違われて苦労したことや長野オリンピックに出場した際のエピソードを交えた軽快なトークで、会場を沸かせました。

大谷健一さん ベストアグリ賞受賞



平成26年度山形県ベストアグリ賞の表彰式が、11月20日、山形県郷土館「文翔館」(山形市)で開催され、大谷健一さん(西)が表彰されました。大谷さんは、水稲と施設園芸を組み合わせた複合経営を地域に先駆けて開始したほか、耐雪ハウスでの周年栽培や新規就農希望者の研修受け入れ等による農業後継者育成などに積極的に取り組まれています。

税に関する表彰

長井税務署(星市郎署長)の税に関する表彰式が、11月13日、TASビル(長井市)で開催されました。

同署管内農業青色申告会連絡協議会の伊藤重廣会長(河原角)が、長井税務署長表彰を受章したほか、税についての作文表彰では、小国中学校2年の齋藤まどかさん(宮の台)が山形県納税推進協議会長賞、同1年の大久保沙恵さん(兵庫館)が小国町長賞、小国高校2年の高橋咲さん(伊佐領)が県置賜総合支庁長賞を受賞しました。



県置賜総合支庁長賞を受賞する高橋咲さん

小国グリーンエナジー合同会社 アントレプレナー賞を受賞

第2回山形イノベーションアワード表彰式が、11月10日、ホテルメトロポリタン山形(山形市)で開催され、小国グリーンエナジー合同会社(高橋安以子代表)が、起業家精神にあふれる優れた個人や企業に贈られる「アントレプレナー賞優秀賞」を受賞しました。

同社は、平成23年に設立され、主にペレットストーブやその燃料となる木質ペレットの販売等を行っており、本町の間伐材をはじめとした木質系燃料の地産地消と環境保全に積極的に取り組まれています。



表彰を受ける同社の高橋睦人さん

12月14日(日)は第47回衆議院議員 総選挙の投票日です。

12月14日(日)は、第47回衆議院議員総選挙の投票日です。国民の声を政治に反映させるための大事な選挙です。忘れずに投票しましょう。

◎公示日と投票日

■公示日 12月2日(火)
■投票日 12月14日(日)

◎投票できるかた

■投票日当日に満20歳以上のかた(平成6年12月15日までに生まれたかた)

■平成26年9月1日以前から小国町に住所を有するかた

投票方法

衆議院議員総選挙は、小選挙区選挙と比例代表選挙の2つの投票となります。小選挙区は「候補者名」を、比例代表は「政党名」をそれぞれ投票用紙に記入して投票してください。また、最高裁判所裁

判官国民審査も実施され、計3回の投票を行うこととなります。

期日前投票は

12月3日から

投票日当日に、仕事、買い物、レジャー等で不在になるかたは、期日前投票をしましょう。入場券を忘れずに持参してください。お手元になる場合は、投票所で係員にお申し出ください。

会場① 役場2階ラウンジ

■期間 12月3日(水)～12月13日(土)

※国民審査は12月7日(日)からとなります。3日(水)から6日(土)は投票できません。

■時間 午前8時30分～午後8時

会場② 健康管理センター
森のホール

■期日 12月10日(水)

■時間 午前9時～午後4時

各種不在者投票について

■町外に滞在されているかたの不在者投票

仕事や学業などで、投票期間中、町内にいないかたは、滞在地の市区町村で不在者投票を行うことができます。投票用紙等は、所定の手続きにより郵便で交付しますので、郵送の期間を考慮し、早めに選挙管理委員会にお問い合わせください。

■指定病院等での不在者投票

都道府県選挙管理委員会が指定した病院、老人ホーム等の施設に入院または入所されているかたは、申し出によって、その施設で不在者投票ができます。詳しくは、各施設にお問い合わせください。なお、町内では、次の施設が指定されております。

●町立病院

●介護老人保健施設温身の郷

●特別養護老人ホームさいわい荘

■郵便による不在者投票制度や不在者投票の代理記載制度

重度の身体障がいがあるかたなど、一定要件に該当するかたは、郵便による不在者投票や郵便による不在者投票の代理記載制度を利用できます。

郵便による投票をされる際は、事前に「郵便等投票証明書」の交付を受ける必要がありますので、早めに手続きを行ってください。

☆投票所、投票時間は、配布される入場券に記載されておりますので、ご確認ください。

◎開票は、即日開票

■開票 12月14日(日)

午後9時から

■場所

おぐに開発総合センター

※詳しいことは、選挙管理委員会(☎62・2112)へお問い合わせください。

保育所に入所を希望するお子さんの保護者の皆さまへ

「支給認定申請・利用申込み」手続きのお知らせ

保育所を利用する場合は「認定証」が必要です

保育所を利用する場合は、下記区分による認定（1号、2号、3号）を受ける必要があります。

区分認定	対 象 者	主な利用施設、事業
1号認定	3歳以上のお子さんで、保育を必要とせず教育を希望する場合	幼稚園、認定子ども園
2号認定	3歳以上のお子さんで、「保育を必要とする事由」に該当し、保育所で保育を希望する場合	保育所、認定子ども園
3号認定	3歳未満のお子さんで、「保育を必要とする事由」に該当し、保育所で保育を希望する場合	保育所、認定子ども園、小規模保育、家庭的保育

※小国町で利用できる施設は保育所のみです。

「支給認定申請・利用申込み」の対象者

小国町に住所を有している、保育所の利用を希望する児童全員が対象です。

※現在、保育所に入所しているお子さんについても申請が必要になります。

支給認定の手続き

「支給認定申請兼利用申込書」に、必要書類を添付して提出してください。詳細は、「支給認定申請兼利用申込書」配布時に説明します。



スケジュール

①新規入所児童（平成27年4月から新規に入所を希望する児童）

「支給認定申請兼利用申込書」 配布開始 12月1日(月)～ 健康福祉課、各保育園で配付
 受付期間 12月18日(木)～12月24日(水)
 健康福祉課に提出してください。
 平日は18:30まで受付（土日祝日は休み）

「認定証」「利用決定通知書」 平成27年2月中旬に郵送します。

※健康福祉課に「保育所一覧」を備えていますので、参考にしてください。

②在園児（現在入所している児童）

「支給認定申請兼利用申込書」 配 付 平成27年1月上旬
 回 収 平成27年1月下旬
 入所中の保育園を通じて配布、回収します。

「認定証」「利用決定通知書」 平成27年2月中旬に郵送します。

※保護者利用負担金（保育料）は、年度末にお知らせします。

■問合せ先 健康福祉課地域福祉担当（健康管理センター内 ☎ 61-1000）へ

軽自動車税の税率が変わります

地方税法の改正により、平成27年4月1日から軽自動車税の税率が次の表のとおり変わります。

■原動機付自転車や125ccを超えるバイク等の車両

車種区分		平成26年度	平成27年度から
原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円
	50cc超90cc以下	1,200円	2,000円
	90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
小型特殊自動車	農耕作業用	1,600円	2,400円
	その他 (フォークリフト等)	4,700円	5,900円
軽 二 輪 (125cc超250cc以下)		2,400円	3,600円
小型二輪 (250cc超)		4,000円	6,000円
雪 上 車		2,400円	3,600円

■軽四輪等の車両

車種区分		①平成27年3月31日 以前に初期登録し た車両	②平成27年4月1日 以後に初期登録し た車両	③初期登録から13年を 経過した車両
		平成27年度から		平成28年度から
三輪の軽自動車		3,100円	3,900円	4,600円
四輪乗用軽自動車	自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	営業用	5,500円	6,900円	8,200円
四輪貨物軽自動車	自家用	4,000円	5,000円	6,000円
	営業用	3,000円	3,800円	4,500円

- ・平成27年3月31日以前に初期登録された車両は、その登録から13年を経過するまで上の表①の税率が適用されます。
- ・平成27年4月1日以後に初期登録された車両は、上の表②の税率が適用されます。
- ・平成28年度以降は、初期登録された年から13年を経過した車両に対し、上の表③の経年重課税率が適用されます。

※「初期登録」とは、自動車車検証に記載されている初年度検査日を指します。

■問合先 町民税務課税政管理室（☎62-2403）へ

新規起業を応援します!!

小国町起業化
資金助成制度を

活用ください

町では、新規開業、または開店を目指している町内に居住する起業家に対し、開業資金の一部を助成します。

■助成対象者 小国町に居住し、町内での新規開業等を予定しているかたで、申請から6カ月以内の開業が確定であり、また開業後1年以上の事業継続が見込まれるかた

■助成対象経費 設備費、機械器具購入費、原材料費、外注加工費、宣伝広告費、専門家謝金等

■助成額

▽個人 対象経費の3分の2 (限度額20万円)

▽法人 対象経費の3分の2 (限度額30万円)

■申請・問合先

産業振興課商工観光室
(☎62-2416) へ

お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要をお知らせします。

■職員手当の状況（一般職）

（平成26年4月1日現在）

扶 養 手 当	・配偶者 13,000円／月 ・扶養親族 1 人につき6,500円（配偶者がいない場合11,000円） （満16歳から22歳までの子につき5,000円加算）									
住 居 手 当	・借家 月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、 27,000円／月を限度に家賃に応じて支給									
通 勤 手 当	通勤距離2.0km以上を対象に支給。 ・交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額55,000円／月 ・自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円／月									
期末勤勉手当	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給。 <table><tr><td></td><td>期末手当</td><td>勤勉手当</td></tr><tr><td>・6月期</td><td>1.225月分</td><td>0.675月分</td></tr><tr><td>・12月期</td><td>1.375月分</td><td>0.675月分</td></tr></table> ※3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5％～15%の加算措置有り		期末手当	勤勉手当	・6月期	1.225月分	0.675月分	・12月期	1.375月分	0.675月分
	期末手当	勤勉手当								
・6月期	1.225月分	0.675月分								
・12月期	1.375月分	0.675月分								

（各年度一般会計決算）

時 間 外 勤 務 手 当	区 分	支 給 総 額	1人当たり平均支給額
	24年度決算額	27,491千円	250千円
	25年度決算額	30,923千円	284千円

退 職 手 当	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.32月	24.15月
勤続25年	31.05月	37.26月
勤続35年	43.70月	52.44月
最高限度額	52.44月	52.44月
※定年前早期退職者に対して2%～45%の加算措置有り		

■特別職の報酬の状況

（平成26年4月1日現在）

		月 額	期 末 手 当
給 料	町 長	810,000円	6 月 期 1.4月分
	副 町 長	630,000円	12 月 期 1.5月分
	教 育 長	560,000円	合 計 2.9月分
報 酬	議 長	310,000円	6 月 期 1.4月分
	副 議 長	250,000円	12 月 期 1.5月分
	議 員	235,000円	合 計 2.9月分

※特別職の期末手当は、給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

■勤務時間（標準的なもの）

（平成26年4月1日現在）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00	土曜日・日曜日

■休暇制度の概要

有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏季休暇、社会奉仕活動など）
 無給 介護休暇・組合休暇

■問合せ先 総務企画課行政管理室（☎62-2112）へ



町職員の給与・人事行政の内容を

■採用の状況

(平成26年4月1日)

	男	女	合 計
一般行政職	1人	2人	3人
保 健 師	1人	0人	1人
医療技術職	1人	1人	2人
介 護 員	0人	1人	1人
学 校 教 育 専 門 員	1人	0人	1人
合 計	4人	4人	8人

■退職の状況

(平成25年4月1日から平成26年3月31日)

	男	女	合 計
定 年 退 職	3人	2人	5人
勸 奨 退 職	0人	1人	1人
普 通 退 職	3人	0人	3人
合 計	6人	3人	9人

■職員数の状況

(各年度4月1日現在)

	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護 保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職	技能労務職	その他 教育職	合計
25年度	95人	7人	4人	11人	42人	13人	2人	4人	1人	179人
26年度	94人	7人	4人	12人	41人	14人	2人	4人	1人	179人
増 減	－1人	0人	0人	1人	－1人	1人	0人	0人	0人	0人

※町長、副町長、教育長を除いた人数です。

■一般行政職の級別職員数の状況

(平成26年4月1日現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な職務	主事補・主事	主任	係長・主査	室長・補佐	主幹	課長
職 員 数	13人	28人	23人	14人	6人	10人
構 成 比	13.8%	29.8%	24.5%	14.9%	6.4%	10.6%

■人件費の状況

(平成25年度一般会計決算)

住民基本台帳人口	歳 出 総 額 (A)	人 件 費 率 (B)	人 件 費 率 (B/A)	24年度人件費率
8,421人	7,798,875千円	882,871千円	11.3%	10.8%

■職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区 分	職 員 数 (A)	給 与 費				一人当たり 給 与 費 (B/A)
		給 料	職 員 手 当	期末勤勉手当	計 (B)	
25年度	109人	411,341千円	66,237千円	145,794千円	623,372千円	5,719千円
26年度	107人	397,980千円	72,812千円	139,240千円	610,032千円	5,701千円

■平均給与月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区 分	平成25年度			平成26年度		
	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額	平 均 年 齢	平均経験年数	平均給料月額
一 般 行 政 職	42.6歳	21.1年	306,500円	42.3歳	20.8年	305,500円
技 能 労 務 職	47.8歳	26.0年	276,800円	48.8歳	27.0年	280,900円

■初任給の状況

(平成26年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	172,200円	172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円
技能労務職	高校卒	125,400円	137,200円

■ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

	23年度	24年度	25年度
小 国 町	90.5	98.8 (91.3)	99.7 (92.1)
県内町村平均	95.9	103.9 (96.0)	102.3 (94.5)
全国町村平均	95.3	103.3 (95.5)	103.2 (95.4)

※ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。() 内は、国家公務員の時限的な給与改定特例法による措置が無いとした場合の参考値です。



再生可能エネルギーの地産地消へ ～再エネ★フェス！ 2014～



再エネ★フェス！ 2014が、11月1日、白い森ショッピングセンターアスモ駐車場などで開催されました。これは再生可能エネルギーへの理解を深めるとともに町内外へ広く普及を図るため、小国エネルギーの地産地消を考える会（高橋泰弘会長）が主催したもので、昨年に続き2回目の開催となります。

会場には、薪などを燃やして給湯する足湯のほか、太陽光や自転車により発電した電力を利用した機器など展示や体験コーナーが設置されました。

来場者は、さまざまな再生可能エネルギーの力を楽しく体感していました。

農林業の発展と活性化を目指す ～6次産業化セミナー～



6次産業化セミナーが、11月10日、白い森ショッピングセンターアスモで開催されました。これは、農産物の生産から加工、販売までを行う6次産業化のサポート事業として町が主催したもので、町内の農林業者など約50人が出席しました。

セミナーでは、兵庫県立大学大学院客員教授の勝瀬典雄氏など3人のプランナーによる「ネットワークの必要性」と題した講演を行いました。講演の後には、6次産業化に取り組もうと考えているかたがたが、プランナーから個別に指導を受ける個別相談会が開かれました。

たくさんの遊び体験に夢中 ～おぐにの子どもの日まつり～

おぐにの子どもの日まつりが、11月8日、健康管理センターで開催されました。

会場では、音楽や歌に合わせて身体を動かす「うたみつく」やパティシエの小松龍侍さん（長井市）を講師に迎えた飴細工体験のほか、バルーンアートや牛乳パックを使った竹とんぼづくりなど、多くのイベントコーナーが設けられました。参加した親子は、それぞれのコーナーをまわりながらさまざまな遊びを体験しました。このほか、良い歯の表彰式も行われ、4人のお子さんに賞状と記念品が贈られました。



各会場でにぎわいをみせた芸術の秋 ～平成26年度小国町文化祭～

平成26年度小国町文化祭が、10月下旬から11月はじめにかけて町内各地で開催されました。

10月25日には、古田歌舞伎公演が旧沖庭小学校体育館を会場に行われ、「寿式三番叟（ことぶきしきさんばそう）」と「仮名手本忠臣蔵六段目 与市兵衛内勘平腹切りの場（よいちべえないかんぺいはらきりのば）」が上演されました。今年は、旧沖庭小学校の閉校に伴い古田歌舞伎のみの公演となりましたが、熟練の演技に詰めかけた観客からは大きな拍手が



送られました。

また、11月1日から3日までの期間、町民総合体育館や総合センター、小国小学校体育館の各会場において、町民が持ち寄った生け花や書道などの作品展示やお茶席のほか、本町出身の落語家山遊亭金太郎氏による寄席や町民による歌や踊りを披露する「芸能まつり」、「民謡まつり」が開催されました。それぞれの会場は、多くの町民でにぎわいました。



シリーズ 協力隊通信 ⑦

「生涯現役！」

第21期 緑のふるさと協力隊
宮本 史人



六ヶ字地域サロン「六幸会」の皆さま

私が小国で活動していて最も驚いたのは、「元気なお年寄り」が大変多いことです。最近、地域サロンのお手伝いもしており、その中で、活発な70歳代、80歳代のおじいちゃん、おばあちゃんと交流しています。小国のおじいちゃんおばあちゃんは、漬け物をつけたりつる細工をしたり畑をしたりと、多趣味にいきいきと日々暮らしています。サロンで輪投げなどのゲームをしていますが、足腰も達者で、見るからにとっても元気です。高齢になると、家でじっとしているというイメージをもっていた自分にとって、このような元気なお年寄りの存在は非常に驚きました。小国の暮らしの中では、山仕事や畑仕事など、体を動かす機会が多いからなのでしょう。

なぜそのように元気なのか、おじいちゃんおばあちゃんがたに「健康の秘訣」を聞くなど調べてみたいと思います。そして、私自身も小国のおじいちゃん、おばあちゃんのように歳をとっても健康に動けるような体をつくり、「生涯現役！」で過ごしたいと思います。

ご案内

**児童扶養手当と公的年金の
供給ができるようになります**

これまで、公的年金（遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償など）を受給するかたは、児童扶養手当を受給できませんでしたが、児童扶養手当法の改正に伴い、12月1日以降は、年金額が児童扶養手当の額より低いかたは、その差額分の児童扶養手当を受給できます。

**■新たに児童扶養手当を受け
取れるかた**

- ① お子さんを養育している祖父母等が、低額の老齢年金を受給している場合
- ② 父子家庭で、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合
- ③ 母子家庭で、離婚後に父が死亡し、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合 など

■受給するには

健康福祉課への申請が必要です。詳細はお問い合わせ

ください。

■申込・問合先 健康福祉課

児童福祉担当（健康管理センター内） ☎ 61・1000

公式ワナゲ普及員

資格認定講習会

誰でも気軽にできるワナゲの普及員の資格を取得できる講習会です。

■日時

12月19日（金）

13時から受付
13時30分開始

■会場

総合センター集会室

■対象

おおむね60歳以上のかた

■内容

講義、実技、認定テスト

■認定料

500円

■持ち物

筆記用具、タオル、飲みもの、認定料

■申込締切

12月11日（木）

■その他

当日は動きやすい服装でお越しください。

■申込先

小国町老人クラブ
連合会（小国町社会福祉協議会内） ☎ 62・2825

町内の空間放射線量をお知らせします。

～いずれの場所の数値も人体に対して影響のない水準です～

■11月21日（金）の空間放射線量

測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
旧北部小中学校 グラウンド	0.07
旧沖庭小学校 グラウンド	0.07
旧小玉川小中学校 グラウンド	0.07
旧玉川小中学校 グラウンド	0.07
小国小学校 グラウンド	0.07
叶水小中学校 グラウンド	0.08
旧伊佐領小学校 グラウンド	0.09
旧白沼小中学校 グラウンド	0.08

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合先
町民税務課町民生活担当へ

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅小坂町団地》

3DK 1戸（4階）

《町営住宅あけぼの団地》

3DK 1戸（2階）

■家賃 所得と家族構成による

■対象 所得制限あり

《小坂町勤労者住宅》

2DK 1戸（2階）

■家賃 38000円

■対象

町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

県営住宅入居者募集

■募集期限

12月10日（水）

■入居時期

12月下旬以降
問合先 地域整備課建設管理室（☎ 62・2431）へ

■募集住宅

3DK 2戸

■家賃 所得により決定

■対象 同居親族がいるかた（所得制限あり）

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限

12月12日（金）

■入居時期

2月上旬

■問合先 県営住宅指定管理者（株）西王不動産置賜事務所（☎ 0238・24・2332）へ



※日程が変更になる場合は、アスモ掲示板でお知らせします。

12月の保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 12月19日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成26年8月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 12月19日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成25年12月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 12月12日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成25年4月、5月、6月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

【毎週火曜日】

※第2、4木曜日の午後はお休みとなります。

【毎週月曜日・木曜日】

午前9時30分~11時30分

午後1時~3時30分

☆なかよし広場☆

■日時

12月2日(子育て講座・クリスマスの飾りを作ろう)、9日、16日

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆

■日時 12月11日、25日

午後1時~午後3時30分

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

▽開催場所・問合先

子育て支援センター(おぐに保育園内)

※子育て支援センターは、29日(月)から年末休暇となります。

子育て支援センターから

求 人 情 報

右の表は11月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2014.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●12月26日(金) 水道料

●12月25日(木) 固定資産税(4期)、国民健康保険税、後期高齢者保険料

●1月5日(月) 介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
社会福祉法人小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	7:30~16:30他
大 和 建 設 運 輸 (株)	土木施工管理技士	2人	8:00~17:00
	重機運転手	2人	8:00~17:00
	大型トラック運転手	2人	8:00~17:00
(有) 小 国 技 研	ボーリング洗浄工 および作業管理補助 【急募】	2人	8:00~17:00
(株) ケイプ プロダクツ	受注管理	2人	9:00~18:00
安 部 工 業 (株)	現場監督員	2人	8:00~17:00
	運転手	2人	8:00~17:00
小 国 町 役 場	保育士	1人	8:30~17:00他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

12月の あいイベント

スポーツしてからお正月!!



- ①第2回ドッジボール大会 12月26日(金)
 ②ソフトソフトボール大会 12月27日(土)
 (大きめのソフトなボールとソフトなバットを使用)
 ■時 間 9:30から
 ■対 象 者 小学校1年生から6年生までの男女
 ■参 加 費 100円(保険料込)
 ■持 ち 物 室内シューズ、飲み物等
 ■申込締切 12月25日(木) 12時まで(電話可)
 ※詳細は下記までお問い合わせください。

■申込・問合先 **おぐにYui** (☎62-5808)へ
 スポーツクラブ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～

- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| ◇すべての神様の十月 | 休館日 毎週月曜日・祝日 | 小 路 幸 也 |
| ◇太陽がもったいない | | 山崎ナオコ |
| ◇天下、なんぼや | | 吉 川 永 青 |
| ◇憎悪のパレード | | 石 田 衣 良 |
| ◇災害救助犬レイラ | | 井 上 こ み ち |

相 談

▽年金相談

- 日 時 12月17日(水)
 10:30~14:00
 ■場 所 役場町民相談室
 ■対応者 米沢年金事務所職員
 ■申込み 事前に申込みが必要です。
 ■申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽特設人権相談・無料法律相談

- 日 時 12月5日(金)
 10:00~14:00
 ■場 所 総合センター
 ■対応者 町人権擁護委員・弁護士
 ■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽行政相談

- 日 時 12月6日(土)
 10:00~12:00
 ■場 所 役場
 ■対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
 ■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

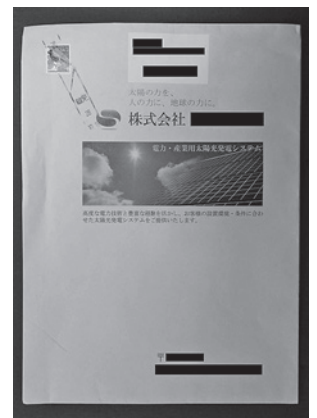
小国警察署からのお願いです

太陽光発電への投資をかたる詐欺に注意!

今年の10月、町内の高齢者宅に、太陽光発電への投資を募集する不審な電話がかかってきたり、太陽光発電会社のパンフレット等が入った青い封筒が送られてきたりする事案が数件発生しました。

この件に関しては、町内の各金融機関やATM(現金自動預払機)が設置されている店舗等からご協力をいただくなど、当署で被害防止措置を講じており、現在のところ詐欺被害の認知はありません。

送られてきたパンフレットでは、「1,000万円の投資で年利5.3%、53万円の配当金が出る」として投資募集をしていますが、このような高金利、高配当の投資や電話で投資を募集することはありません。今後、怪しい会社のパンフレットが届いたり、「パンフレットが届いてませんか」といった内容の電話があった場合は、小国警察署にご連絡ください。



実際に送られてきたパンフレットと封筒

- 問合先 小国警察署 (☎62-0110) へ



●小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
 ●行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室・地域振興室 ☎62-2264
 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
 ●農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●会 計 室 ☎62-2406
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

//////////////////////////////// 年末年始の休館情報等について //////////////////////////////////

	水 道	町 立 病 院	ご み 集	小国中継施設 (リレーセンター)	総 合 セ ン タ ー、 町民体育館、あいべ	温 水 プ ー ル
27日(土)	清水設備 ☎67-2127	休診	休み	休み	通常どおり	通常どおり
28日(日)	津島屋電機店 ☎62-2404	休診	休み	休み	通常どおり	通常どおり
29日(月)	山一住設 ☎61-0123	休診	通常どおり	通常どおり	休み	休み
30日(火)	設備佐藤 ☎62-5606	内 科 (9:00~12:00) 歯 科 (10:00~13:00)	休み	休み	休み	通常どおり
31日(水)	小関住宅設備 ☎62-5347	休診	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
1月1日(木)	パイプライン ☎62-2461	休診	休み	休み	休み	休み
2日(金)	津島屋電機店 ☎62-2404	休診	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
3日(土)	小関住宅設備 ☎62-5347	内 科 (9:00~12:00)	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
4日(日)	清水設備 ☎67-2127	休診	休み	休み	休み	通常どおり
問合せ先	地域整備課 建設管理室	町 立 病 院	町民税務課 町民生活担当	小国中継施設 (リレーセンター) ☎63-2251	総 合 セ ン タ ー、 町民体育館、あいべ	温 水 プ ー ル ☎62-4248

※総合センター、町民体育館、あいべは 5日(月)も休館いたします。

入札結果情報 (平成26年10月21日~11月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H26.10.27	平成26年度勤労者住宅整備事業西勤労者住宅排水設備工事	西	H26.12.12	2,695,000	山一住設(株)	2,450,000
H26.10.27	平成25年度繰越都市再生整備事業案内看板設置工事	町内都市計画区域内	H26.12.26	5,078,000	斎藤建設(株)	5,000,000
H26.10.27	平成26年度町道松岡大石線道路整備工事	伊佐領	H26.12.12	3,207,000	斎藤建設(株)	2,900,000
H26.11.12	平成25年度繰越社会資本整備総合交付金事業町道長者原内川線岩奥沢橋補修工事	小玉川	H27.3.25	21,103,000	玉川開発(株)	20,000,000
H26.11.12	平成25年度繰越社会資本整備総合交付金事業町道宇津峠線宇津橋補修工事	沼沢	H27.3.25	17,133,000	遠藤建設(株)	16,800,000
H26.11.12	平成26年度都市再生整備事業町道電興社宅5号線道路改良工事	西	H27.3.27	13,284,000	大和建設運輸(株)	13,250,000
H26.11.12	平成26年度町道黒沢小屋場の沢線舗装工事	黒沢	H27.12.22	3,639,000	安部工業(株)	3,400,000
H26.11.13	道の駅外灯 LED 化工事	小国小坂町	H27.1.16	3,208,000	猪野電気工事(株)	2,900,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国小坂町 瀬 賀 琉 生 (三喜雄
初美生
子) 五 味 沢 伊 藤 陸 翔 (幸由美
子) 岩 井 沢 齋 藤 紗 慧 (弘与枝
子) 兵 庫 館 高 橋 楓 (恭明史
子)

結婚おめでとうございます。

(古 田 木 村 秀 也
越 中 里 高 橋 綾
緑 町 藤 川 孝
長 井 市 向 田 祐 子)

おくやみ申し上げます。

玉 川 佐 藤 テツエ (90)
綱 木 箱 口 井 上 實 (63)
小 国 町 丹 芳 美 (75)
尻 無 沢 今 秀 夫 (77)
北 横 沢 サ イ (91)
岩 井 沢 伊 藤 安 男 (95)
小国小坂町 吉 井 シ ヅ (82)
舟 渡 塚 原 洋 子 (80)
叶 水 小 野 照 子 (86)
大 中 里 高 野 ミ ネ (95)
越 中 保 科 和 広 (57)
黒 沢 須 藤 源 内 (100)
小国小坂町 小 玉 川 渡 邊 初 江 (94)

人口のうごき (平成26年10月31日現在)

人口 男・・・4,081人(－10)
女・・・4,281人(－6)
計・・・8,362人(－16)
世帯数 3,148世帯(－7)

～ふるさとへの想い～

シリーズ②『自然豊かな故郷に思いを込めて』

たん しろ う
丹 四 郎 さん

山形県鶴岡市在住

白子沢 出身



昨年、妻と法隆寺にて

アブに喰われながら夢中になったザッコ獲り、小、中学校9年間同じクラスで学んだ同級生、刈り取り間近の田んぼは水浸しで橋は全て流され町に行けなくなった羽越水害など、原稿を依頼されてあらためて当時の情景や仲間たちのことを思い浮かべています。

昭和43年の春、高校卒業と同時に当時の営林署に就職し、以来東京から青森にかけて転勤を重ね、15回目の引越しで今の地に落ち着いています。退職後、樹木医の資格を取り、樹木の相談を受けたり鶴岡市に「森の案内人」として登録し山の案内などをしており、これからも山に関わることを続けていきたいと思っています。自然と生活の便利さとは相いれない部分もありますが、自然を大事にし、自然と上手に付き合っていくことの大切さを感じています。

故郷小国町には、全国に誇れる豊かな自然が残されており、今後ともこの自然とともに発展していくことを願っています。沼沢の兄貴が作った「大根、白菜、ニンジン、ジャガイモ・・・」、野菜を車いっぱい積んで帰るのが、毎年秋の楽しみです。

編集後記

今年は、冬の気配は早く感じたものの、平地での降雪は昨年に比べて遅いようです。私は、11月初めに車のタイヤを冬用に履き替えましたが、焦り過ぎたようです。早いに越したことはありませんが、いざ降雪となれば、焦りは禁物なのが冬道の運転。ちよっとした気の緩みが、事故につながります。気持ちと時間に余裕を持った安全運転を心掛け、穏やかな新年を迎えましょう。

(伊藤)



昭和58年 インドネシアとの子ども交流

新町誕生60周年記念
写真で振り返る
「あの頃の我が町」